

平成26年度
総合研究所 年次報告書



名桜大学
平成27年3月

— 総合研究所紹介 —

総合研究所は、外部の研究機関と連携しながら、主として沖縄県北部の学術振興や地域貢献を目的とし、1996年に開設された研究施設です。本学全教員が所員として所属し、言語文化・経営情報・観光環境・社会政策・健康科学・看護学科の6研究部門で構成されています。所員は、本研究所の研究助成、外部機関の研究助成（科学研究費、受託研究等）を受けて、研究活動を行っています。

また、情報発信として研究発表会・講演会・シンポジウムなどを積極的に開催しています。さらに所員の研究成果は、年1回発行される研究所紀要「総合研究」に収録されています。

なお、本研究所の大会議室（1室、70名）と小会議室（1室、12名）は、研究目的以外に市民にも開放され、研修会や講習会の場として広く利用されています。



1. 運営に関すること

(1) 総合研究所 所内スタッフ (併任教員 2、専任職員 1・臨時職員 1)

所 長：田邊 勝義
副所長：遠矢 英憲
主 任：大城 章紀 (専任)
係 員：宮城 知佳 (臨時)

(2) 総合研究所 運営委員 13名 ※紀要委員 † () は運営委員ではない

委員長・副委員長：田邊 勝義 †・遠矢 英憲 †
言語文化部門：小番 達 †・菅野 敦志
経営情報部門：仲尾次洋子 †・
観光環境部門：朴 在徳・鈴木 富之・(伊良皆 啓 †)
社会政策部門：李 鎮榮・嘉納 英明・(大城美樹雄 †)
健康科学部門：仲田 好邦・山本 健司 †
看護科学部門：金城 利雄・佐和田重信
事 務：大城 章紀

(3) 総合研究所 研究員 14名 (客員 8・共同 6)

研究員氏名	研究員種別	研究テーマ・方法
中村 誠司	客員研究員	<歩く・見る・聞く・書く>を基本とする地域調査
中村 将	客員研究員	熱帯性の雌雄異体魚の性決定機構、及び雌雄同体魚の性転換機構の内分泌調節機構解明
樋口 克次	客員研究員	大学生の金融知識の向上に必要な金融教育の理論と実践
土肥 直美	客員研究員	遺跡から出土する各時代の人骨
平良 一彦	客員研究員	やんばる地域の長寿とライフスタイルに関する研究等
真喜屋尚美	客員研究員	沖縄県の医療機関に於ける診療情報管理士の関わりを調査研究
上間 篤	客員研究員	モンゴル帝国が築いた世界秩序と中世今帰仁勢力ゆかりの出土史料との関わり
矢貫 卓博	客員研究員	地域クラブマネジメントと大学や学生のマッチング
宮川めぐみ	共同研究員	教育学・教育社会学
神田 佳代	共同研究員	女性の健康について
安和やよい	共同研究員	看護学・看護教育史
高橋 大介	共同研究員	現象論的研究・超ひも理論による研究
小田 五月	共同研究員	現象論的研究・超ひも理論による研究
徳田 菊恵	共同研究員	看護教育・教養教育・自己教育力・基礎看護学・看護技術

2. 地域貢献に関すること

(1) 部門別シンポジウム 3件 国際シンポジウム 1件

1) 総合研究所の部門によるシンポジウム（主催）

総合研究所には現在、6つの部門があり（言語文化・経営情報・社会政策・観光環境・健康科学・看護科学）、全教員がそれぞれ1部門に属しています。

平成26年度は3部門によるシンポジウム及び国際シンポジウムが開催されました。

1-1) 経営情報部門

沖縄を元気にするマネジメント

ーリノベーションとイノベーション（創新）ー

日時：平成27年2月7日（土）15:00～18:00

講師：福川 裕一（千葉大学大学院工学研究科 教授（工学博士）

町田 直子（特定非営利活動法人ACTY 理事長）

上地 哲（中小企業庁「よろず支援拠点」沖縄コーディネーター）

金城 茂孝（名護市商工会経営指導員）

広瀬 陽（沖縄市中心市街地活性化協議会タウンマネージャー）

概要及び所感

「沖縄を元気にするマネジメントーリノベーションとイノベーション」をテーマに、人口減少や高齢化が進む地方において、地域資源を生かした住民参加型の地域活性化による「再生」、「創新」の可能性を考えるシンポジウムであった。基調講演として、福川裕一氏（千葉大大学院工学研究科教授）による「地域再生・地域創新のためのマネジメントーその作法と実践ー」、町田直子氏（特定非営利活動法人ACTY理事長）による「世界に誇れるまちづくりを目指してー青森県八戸市におけるACTYの取組みー」が行なわれ、続いて、宮平栄治教授（国際学群経営情報教育学系）をコーディネーターとし、上地哲氏（県よろず支援拠点コーディネーター）、金城茂孝氏（名護市商工会経営指導員）、広瀬陽氏（沖縄市中心市街地活性化協議会タウンマネージャー）の3名のパネリストを加えたパネルディスカッションが行なわれた。

地域活性化のためには、マーケティングを重視した市場創出と、人と人とのネットワークを活用した人材育成の重要性が挙げられた。



シンポジウムの様子

1-2) 健康科学部門

「動脈硬化予防改善のための身体活動、運動・トレーニング」

日時：平成27年2月14日（土）14:00～17:00

講師：石川 清和（今帰仁診療所 所長 医師）

萩田 太（国立大学法人鹿屋体育大学 教授）

高良 順子（名桜大学非常勤講師）

概要及び所感

2014年、総務省は現在の高齢者人口推計を発表した。65歳以上が3300万人を数え、8人に1人は75歳以上となっている。平均寿命も伸び、2013年には男女ともに80歳を超えた。また100歳以上の高齢者は過去最多の5万8820人となった。しかし自立した生活を送れるとされる健康寿命と平均寿命との差は縮まっていない。日本人の死因第1位はがんであるが循環器疾患が第2位にある。この中でも動脈硬化は健康障害の大きな部分を占め、動脈硬化の予防改善は現代の最重要課題の1つとなっている。そしてこの領域に大きく関与しているのが身体活動を含む運動であることも近年明らかになってきた。

まさに今、健康維持に必要なことは、動脈硬化に対する運動の、より具体的な運動方法とその評価および臨床的指標、そして運動効果の機序を明らかにし、具体的な運動処方、運動療法が臨床現場で活用されることである。

本シンポジウムは、沖縄をはじめとする国民全ての医療費増加の一因となっている動脈硬化を発端とする疾病の予防・改善のヒントとなる基本的な生活習慣や身体活動、運動並びにトレーニングについて、エビデンスに基づくお話をしていただきました。さらに知識取得だけでなく、実際の指導に生かすための運動実践の場も設けて参加者全員に指導を受けて頂きました。当日は県内全域から運動指導者を中心に一般の方まで多くの方が集まり、第3部の情報交換会では軽食をとりながら、和やかな雰囲気の中で、講師も交えて気軽に参加者同士の交流を深めて頂きました。講師への質問や意見交換も途切れることなく、予定時間を超えて活発な交流が続き、ぜひまた開催して欲しいとの感想を多くの方々から頂きました。運営に参加した健康運動指導士を目指す学生にとってもよい学習の場となりました。最後になりますが、今回の開催に当たりご協力、ご支援頂いた全ての皆様に厚く御礼申し上げます。



シンポジウムの様子

1-3) 看護科学部門

「摂食嚥下障害による誤嚥下性肺炎の予防とリハビリテーション」

～食べる楽しみを支える～

日時：平成27年3月1日（日）12:25～16:30

講師：知念 清治（沖縄県立北部病院 副院長）

近藤 国嗣（東京湾岸リハビリテーション病院 院長）

高良 孔明（高良歯科医院 歯科医師）

加藤 節子（医療法人光風会 北山病院）

赤坂さつき（独立行政法人 国立病院機構 琉球病院）

概要及び所感

現在、わが国の主要死亡原因の第3位は肺炎であり、この北部地域を含め沖縄県も同様です。肺炎は、一般的に高齢者に生じることが多く、その原因の約7～8割は摂食嚥下障害による誤嚥性肺炎によるものです。摂食嚥下障害は、高齢者の生命だけでなく、食べる楽しみや生きる意欲を阻害する重大な問題です。摂食嚥下障害を有する高齢者に生じやすい誤嚥性肺炎を予防し、食べる楽しみを支えることは、高齢者の生活の質（QOL）を保障するという重要な意義があります。高齢社会において、摂食嚥下障害による誤嚥性肺炎に対する予防・治療やリハビリテーション、看護・介護等の基本的知識や技術は、保健医療福祉施設だけにとどまらず、在宅においても不可欠だといえます。

今回、北部地域の保健医療福祉従事者や一般住民を主な対象として、誤嚥性肺炎予防のための摂食嚥下障害リハビリテーションの知識・技術の普及を目的としたシンポジウムの開催を企画いたしました。各講師は、それぞれの専門職の立場から、動画や写真などを用いて、具体的に分かりやすく、解説を頂きました。講演終了後のシンポジウムでは、各講師に多くの質問があり、摂食嚥下障害による誤嚥性肺炎の予防のあり方について、さらに学びが深まったように思えました。終了後のアンケートでは、参加者の多くから高い評価を得ることができました。



シンポジウムの様子

1-4) 海洋教育国際シンポジウム

海から学び・海を育てる

～海洋教育を考える～

日時：平成27年2月28日（土）13:00～16:00

担当：総合研究所

講師：吉田 章（元筑波大学大学院教授）

新垣 慶太（国土交通省海事局内航課課長）

平野 貴也（名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科上級准教授）

林 伯修（国立台湾師範大学副教授）

遠矢 英憲（名桜大学総合研究所副所長）

田原 亮二（名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科上級准教授）

山本 健司（名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科准教授）

概要及び所感

今回のシンポジウムでは「国際社会で活躍できる人材育成」をその使命と目的とし、国際学群・人間健康学部・国際文化研究科・看護学研究科から成る名桜大学の特色を生かすと共に、その地域に根ざした存在としての意義高揚に資することを目指して開催しました。そのために、折しも国家レベルでの施策となりつつある『海洋教育』を積極的に課題として取り上げ、今日までの実績と共に将来的なヴィジョン設定を国際的視野から検討することによって、“アジアのハブ”としての位置付けを共に再認識し、各方面の独自性を尊重した上での連携した機能創出の可能性を模索しました。

『海洋教育』が新たな概念であるため、萌芽的な挑戦的な企画となりましたが、壇上だけでなく、フロアを含めた活発な意見交換が行われ、名桜大学を起点とし、沖縄のロケーションを活かした新たな研究連携、教育方法、地域貢献について、広く海洋教育の関連分野、関連団体による協力、連携の可能性が示されました。



シンポジウムの様子

(2) その他共催事業 2件

2-1) サンゴの移植⑨ー砂礫泥底におけるサンゴの移植とサンゴの群集の特徴ー

主催：沖縄美ら島財団総合研究センター

日時：平成26年12月4日（木）9:00～17:00

2-2) サンゴの分類と同定 2015

主催：沖縄美ら島財団総合研究センター

日時：平成27年3月19日（木）～3月22日（日）9:00～17:00

3. 研究に関すること

(1) 研究所助成費 13件 ・一般研究8件 ・学際的共同プロジェクト研究5件

1-1) 一般研究 8件

- ① 研究代表者：渡慶次 正則（言語文化部門）
共同研究者：高恋、名桜大学非常勤講師約7名
英語Can-doリストの作成による大学英語プログラムの構築
- ② 研究代表者：田邊 勝義（経営情報部門）
沖縄やんばる地域における台風被害と災害リスクコミュニケーションの研究
- ③ 研究代表者：仲尾次洋子（経営情報部門）
共同研究者：蔡揚宗、林婉婉
会計基準のグローバル化と会計制度の構築に関する研究
ー台湾の会計制度を中心としてー
- ④ 研究代表者：平野 貴也（健康科学部門）
競泳における選手と指導者の観察内容に関する研究
- ⑤ 研究代表者：東恩納玲代（健康科学部門）
健康日本21（第2次）における目標歩数達成者の特徴
ー沖縄県北部在住高齢者を対象としてー
- ⑥ 研究代表者：永田美和子（看護科学部門）
共同研究者：稲垣 絹代、佐和田重信、八木澤良子
沖縄県北部地域の高齢者を取り巻く健康支援に関する研究
ー学生と教員と地域の専門職と協働で行う在宅訪問健康支援活動を通してー

- ⑦ 研究代表者：平上久美子（看護科学部門）
共同研究者：鈴木 啓子、大城 凌子
学生生活継続に危機を感じた“イマドキ”大学生が教員に求めるサポート
－悩みながらも大学生生活を継続できるための支援とは－
- ⑧ 研究代表者：鬼頭 和子（看護科学部門）
共同研究者：鈴木 啓子
リラクセーションを促すフットマッサージの検討

1-2) 学際的共同プロジェクト研究 5件（継続2件、新規3件）

- ① 研究代表者：遠矢 英憲（健康科学部門：H25～H27）
共同研究者：9名
マリンスポーツ安全教室を通じた海洋危険生物による刺咬症に対する安全教育に関する研究
- ② 研究代表者：山里 絹子（H25～H27）
共同研究者：10名
沖縄北部地域出身の海外沖縄移民に関する総合的研究
- ③ 研究代表者：李 鎮榮（社会政策部門：H26～H28）
共同研究者：4名
沖縄における貧困と格差に関する学際的研究
－沖縄本島を中心に－
- ④ 研究代表者：新垣 裕治（観光環境部門：H26～H27）
共同研究者：4名
“やんばる”地域における外国人観光客受け入れ対応に関する調査研究
- ⑤ 研究代表者：奥本 正（健康科学部門：H26～H28）
共同研究者：11名
自律促進型健康支援と健康な町づくり施策は住民の健康度を向上させるか

(2) 科学研究費助成事業

(補助金・学術研究助成基金助成金・一部基金) 33件

研究代表者 17件

- 1) 基盤研究A (23248034) H23～H26 補助金
研究代表者：中村 將
魚類の生殖腺の性的可塑性および水産増養殖応用技術開発
- 2) 基盤研究B (24320056) H24～H26 一部基金
研究代表者：山里 勝己
交錯するまなざしー琉球・沖縄をめぐる欧米のトラベルライティングの総合的研究
- 3) 基盤研究C (24593240) H24～H26 基金
研究代表者：金城 祥教
看護基礎教育におけるコミットメント能力の育成と評価法
- 4) 基盤研究C (24593397) H24～H26 基金
研究代表者：金城やす子
医療的ニーズのある子どもの保育・看護を実践するためのシステム作りに関する研究
- 5) 基盤研究C (24616010) H24～H26 基金
研究代表者：鈴木 啓子
医療機関における暴力被害の連鎖の実態と連鎖を断ち切る臨床知に関する研究
- 6) 基盤研究C (24520205) H24～H26 基金
研究代表者：小嶋 洋輔
中間小説誌の研究ー昭和期メディア編成史の構築に向けて
- 7) 基盤研究C (24530189) H24～H26 基金
研究代表者：高嶺 司
対ベトナム援助政策および政策決定過程の研究
- 8) 基盤研究C (25340062) H25～H27 基金
研究代表者：田代 豊
琉球列島隆起サンゴ礁島嶼の環境特性に対応した有害物質汚染調査手法の開発
- 9) 基盤研究C (25350480) H25～H27 基金
研究代表者：松下 聖子
医療的ケアを要する在宅療養者とその家族への災害時の電源確保に関する支援体制の構築

- 10) 基盤研究C (25653345) H25～H27 基金
研究代表者：清水かおり
ICTを用いた離島・へき地看護職者への支援とネットワーク構築
- 11) 基盤研究C (26350840) H26～H29 基金
研究代表者：東恩納玲代
長寿県沖縄の復活に向けての基礎研究
—高齢者の身体活動状況，生活習慣，健康状態—
- 12) 基盤研究C (26370957) H26～H28 基金
研究代表者：李 鎮榮
韓国の華僑の社団の立て直しと関係の再生過程に関する動態的研究
- 13) 基盤研究C (26502011) H26～H28 基金
研究代表者：大城 凌子
「看取り難民ゼロ」を目指した住民参画型エンドオブライフケアに関する研究
- 14) 若手B (26750247) H26～H28 基金
研究代表者：田原 亮二
スノーケリングを用いた水泳指導教材の開発と効果検証
- 15) 若手B (26750272) H26～H28 基金
研究代表者：石橋 千征
集団スポーツ競技の知覚—運動スキル獲得に貢献するパラメータの抽出
- 16) 若手B (26770225) H26～H29 基金
研究代表者：屋良健一郎
種子島史料の研究
- 17) 挑戦的萌芽研究 (24659966) H24～H26 基金
研究代表者：安和やよい
直接占領下における沖縄の看護教育—沖縄県立公文書館所蔵文書をもちいての検討—

研究分担者 16件

- 1) 基盤研究A (24249097) H24～H27 補助金
研究分担者：金城 祥教
卒後1年目看護師の定着率向上を目的とした広域包括支援プログラムの開発研究
- 2) 基盤研究A (25257009) H25～H27 補助金
研究分担者：菅野 敦志
日本の敗戦と新しい国境による台湾・沖縄の変容の後述歴史に基づく研究
- 3) 基盤研究A (26242013) H26～H29 補助金
研究分担者：小川寿美子
生涯学習基盤としての大規模オンラインコース(MOC)の構築と運用に関する研究
- 4) 基盤研究B (25293435) H25～H27 補助金
研究分担者：金城 祥教
看護系大学における発達障害傾向学生に対するサポート・スペクトラム構築に関する研究
- 5) 基盤研究B (25293435) H25～H27 補助金
研究分担者：伊礼 優
看護系大学における発達障害傾向学生に対するサポート・スペクトラム構築に関する研究
- 6) 基盤研究B (24320059) H24～H26 一部基金
研究分担者：山里 勝己
文学的交感の理論的・歴史的考察－「自然－人間の関係学」
- 7) 基盤研究B (25301036) H25～H27 一部基金
研究分担者：仲尾次洋子
グローバル財務報告基準の導入効果と戦略的利用に関する国際比較調査研究
- 8) 基盤研究B (25292128) H25～H27 一部基金
研究分担者：中村 將
次世代シーケンサーを用いたサメ類の繁殖整理機構の解明と応用に向けた実践と発信
- 9) 基盤研究B (26301031) H26～H28 一部基金
研究分担者：田代 豊
迷惑施設をめぐる権利の正当性：日中での比較調査・実験・ゲーミングによる多角的検証
- 10) 基盤研究C (24530465) H24～H26 基金
研究分担者：大城美樹雄
沖縄におけるローカル企業の持続的競争優位構築プロセスに関する経営学的研究

- 11) 基盤研究C (25463436) H25～H27 基金
研究分担者：清水かおり
がん患者の苦痛症状緩和のための補完代替療法のエビデンスカードの開発と有効性の検討
- 12) 基盤研究C (25350769) H25～H27 基金
研究分担者：仲田 好邦
身体障害者のスポーツ施設環境における心理的及び身体的満足度に関する基礎的研究
- 13) 基盤研究C (26370570) H26～H29 基金
研究分担者：中村浩一郎
主節以外の文要素の左右周辺部構造と文法現象についての研究
- 14) 基盤研究C (26370665) H26～H28 基金
研究分担者：フィーエル ノーマン
Immediate Feedback And The Use Of Polling Systems For EFL Instruction
- 15) 基盤研究C (26350845) H26～H29 基金
研究分担者：東恩納玲代
青・壮年期における健康づくり行動のエコロジカル研究
- 16) 挑戦的萌芽研究 (23660115) H23～H26 基金
研究分担者：稲垣 絹代
野宿生活者が主体的に健康に取り組むことを目指した看護支援

(3) 厚生労働科学研究費補助金 1件

研究分担者1件

- ① 厚生労働科学研究費補助金
研究分担者：金城やす子
健康日本21(第2次)に即した睡眠指針への改訂に資するための疫学研究

(4) 宇流麻学術研究助成基金 2件

- ① 沖縄県の児童養護施設経験者の進路達成についての研究・実践
研究代表者：板山 勝樹(社会政策部門)
- ② 沖縄県北部地域のホテルにおける大卒者の人材育成およびキャリア形成の現状と課題
研究代表者：長谷川順一郎(観光環境部門)

(5) 地域振興研究助成金 1件

- ① “やんばる” 地域における外国人観光客受け入れ対応に関する調査研究
研究代表者：新垣 裕治（観光環境部門）

(6) 総合研究所研究発表会 開催日：平成26年9月9日、9月19日

	研究代表者	共同研究者	研究テーマ
1	新垣 裕治		沖縄島における国内外来マングローブ種であるヒルギ グマシの群落形成による干潟生態系への影響に関する 研究
2	田邊 勝義		沖縄やんばる地域の台風災害と地域防災研究
3	山本 薫		一過性の低強度持久的運動が抵抗性運動鍛錬者の安静 時及び運動後の動脈スティフネスに及ぼす影響
4	松下 聖子		医療的ケアを要する在宅療養者とその家族への災害時 の支援のための基礎的研究
5	宮城 敏郎	伊良皆 啓 大谷健太郎	沖縄観光産業史に関する研究 ～沖縄国際海洋博覧会開催を境とする前後10年の沖 縄観光を中心に～
6	平野 貴也		現代におけるプロスポーツの成立過程 ーウインドサーフィン競技のプロ化及びプロ団体設 立の過程に着目してー

名桜大学総合研究所運営委員会 活動状況

1) 構成委員名

- (1) 委員長：田邊 勝義
- (2) 副委員長：遠矢 英憲
- (3) 委員：小番 達、菅野 敦志、仲尾次洋子、李 鎮榮、嘉納 英明、
朴 在徳、鈴木 富之、山本 健司、仲田 好邦、金城 利雄、
佐和田重信

2) 庶務担当部署：総合研究所

3) 委員会の主な所掌事項

名桜大学総合研究所規則

第3条 研究所は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 調査、研究
- (2) 研究資料、情報の収集、整理及び保管と公開
- (3) 調査・研究成果の発表及び資料の刊行
- (4) 国内外の研究機関及び研究者との交流並びに共同研究
- (5) 受託研究及び調査等、外部からの委託に基づく活動
- (6) 研究会、セミナー、シンポジウム、講演会、公開講座等の開催
- (7) 企業・団体又は一般社会人等に対する研修事業
- (8) その他、目的達成に必要と認められる事業

第15条 研究所の管理運営に関する重要事項は、教授会で審議する。

前項の重要事項には、次のものが含まれる。

- (1) 管理運営の基本方針に関すること。
- (2) 事業計画に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 研究所の人事に関すること。

4-1) 委員会活動

回数	年月日	議題、内容等
1	平成26年 4月28日	【議題】 1. 名桜大学総合研究所出版助成取扱規程及び申請等について 2. 平成26年度前期運営委員会開催日程について 3. 研究所事務体制について 【報告】 1. 宇流麻学術研究助成基金応募について
2	平成26年 5月26日	【議題】 1. 総合研究所に係る諸規程の一部改正（案）について 2. 研究シーズ集の発行について

回数	年月日	議題、内容等
2	平成26年 5月26日	【報告】 1. 平成26年度総合研究所紀要第24号について 2. 宇流麻学術研究助成基金の申請について 3. 研究活動スタート支援申請について 4. 部門別シンポジウム及び国際シンポジウムについて
3	平成26年 6月30日	【議題】 1. 総合研究所に係る諸規程の一部改正（案）について 【報告】 1. 研究シーズ集の原稿作成について 2. 科学研究費助成事業実務担当者向け説明会について 3. 部門別シンポジウムについて
4	平成26年 7月28日	【議題】 1. 学際的共同プロジェクト研究内規及び申請書について 2. 平成26年度学内科研費説明会及び研究発表会について 【報告】 1. 研究シーズ集の原稿の提出について 2. 部門別シンポジウムについて 3. ヒトの移動プロジェクトについて
5	平成26年 8月25日	【議題】 1. 名桜大学総合研究所紀要編集委員会規程について 2. 総合研究所研究助成費の募集日程について 3. 平成26年度出版助成金交付申請について 【報告】 1. 平成26年度学内科研費説明会及び研究発表会について 2. 研究シーズ集の原稿の提出について 3. 部門別シンポジウムについて
6	平成26年 9月22日	【議題】 1. 平成26年度後期運営委員会開催日程について 2. サングの移植シンポジウムについて 3. 平成27年度科研費申請（中村将：客員研究員）への対応について 【報告】 1. 平成27年度科研費申請について 2. 部門別シンポジウムについて
7	平成26年 10月27日	【議題】 1. 国際シンポジウムについて 2. 学際的共同プロジェクト研究継続申請について 3. 研究環境支援について 4. 「研究の日」キャンペーンについて 【報告】 1. 平成27年度科研費申請について 2. 部門別シンポジウム計画状況について

回数	年月日	議題、内容等
8	平成26年 11月25日	<p>【議題】</p> <p>1. 平成27年度出版助成金交付申請について</p> <p>【報告】</p> <p>1. 国際シンポジウムについて</p> <p>2. 研究助成費（一般研究・学際的共同プロジェクト研究）の審査方法について</p> <p>3. 平成27年度科研費申請について</p> <p>4. 部門別シンポジウムについて</p>
9	平成26年 12月22日	<p>【議題】</p> <p>1. 平成27年度一般研究の採点結果について</p> <p>2. 学際的共同プロジェクト研究継続申請について</p> <p>3. サンゴワークショップ「サンゴの分類と同定2015」への共催依頼について</p> <p>【報告】</p> <p>1. 平成27年度総合研究所研究員新規申請及び継続申請について</p> <p>2. 平成26年度中間報告、平成27年度計画の作成について</p> <p>3. 総合研究所会議室のプロジェクト取り換えについて</p> <p>4. 部門別シンポジウムについて</p>
10	平成27年 1月26日	<p>【議題】</p> <p>1. 一般研究に係る申請方法、審査方法について</p> <p>2. 平成27年度総合研究所研究員継続申請について</p> <p>【報告】</p> <p>1. 平成27年度総合研究所概算要求書（案）について</p> <p>2. 所員総会について</p>
11	平成27年 2月23日	<p>【議題】</p> <p>1. 平成27年度総合研究所研究員継続・新規申請について</p> <p>2. 一般研究に係る申請方法、審査方法について（継続審議）</p> <p>【報告】</p> <p>1. 任期満了に伴う名桜大学総合研究所運営委員会委員の選出について</p> <p>2. 次回の運営委員会の開催について</p>
12	平成27年 3月30日	<p>【議題】</p> <p>1. 一般研究に係る申請方法、審査方法について（継続審議）</p> <p>【報告】</p> <p>1. 海洋教育国際シンポジウムの報告について</p>

名桜大学総合研究所紀要編集委員会 活動状況

1) 構成委員名

- (1) 委員長：田邊 勝義
- (2) 副委員長：遠矢 英憲
- (3) 委員：小番 達、仲尾次洋子、大城美樹雄、伊良皆 啓、山本 健司、
金城 利雄

2) 庶務担当部署：総合研究所

3) 委員会の主な所掌事項

- (1) 紀要投稿論文の審査
- (2) 紀要の編集及び発行に関すること
- (3) その他紀要に関すること

4-1) 委員会活動

回数	年月日	議題、内容等
1	平成26年 4月28日	【議題】 1. 平成26年度総合研究所紀要編集・発行日程について 【報告】 1. 平成25年度総合研究所紀要の発行について 2. 総合研究所紀要編集規程及び紀要編集委員会規程について
2	平成26年 6月30日	【議題】 1. 平成26年度総合研究所紀要の査読者の選定について 2. 総合研究所紀要編集委員会規程及び総合研究所紀要編集規程について 【報告】 1. 平成25年度総合研究所紀要の発行について
3	平成26年 7月28日	【議題】 1. 平成26年度総合研究所紀要の査読者及び著作権等について 2. 総合研究所紀要編集委員会規程について 【報告】 1. 平成25年度総合研究所紀要の発行について
4	平成26年 9月22日	【議題】 1. 平成26年度総合研究所紀要に係る査読関係資料について 【報告】 1. 平成25年度総合研究所紀要の発行について
5	平成27年 1月26日	【議題】 1. 平成26年度総合研究所紀要進捗状況について